

避難準備（日頃の備え）

いざという時に備え、日頃から避難の準備と心構えをしよう！

家族みんなで防災会議

災害は家族がいっしょにいるときに起こるとは限りません。いざというときにあわてず行動できるよう、本書を活用し、家族で普段から話し合っておきましょう。

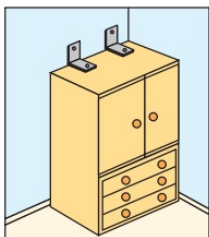
- | |
|--|
| ☐ 家の中で一番安全な場所 |
| ☐ 家族一人ひとりの役割分担
・安否確認、非常時持出品・備蓄品のチェック、避難経路の確保、隣近所への連絡など |
| ☐ 避難場所、避難経路
・自宅と避難場所を確認し、マップに描き入れましょう
・避難経路を実際に歩いて確認しましょう |
| ☐ 自宅付近の災害リスク、危険箇所の確認 |
| ☐ 災害が起こった時の身の守り方 |
| ☐ 家族が離ればなれでいたときの連絡手段、集合場所 |
| ☐ 要支援者（乳幼児、高齢者、障がい者、妊産婦など）のサポートと避難方法 |



家具の転倒、落下を防ぐポイント

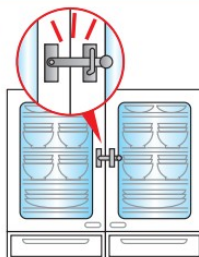
タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



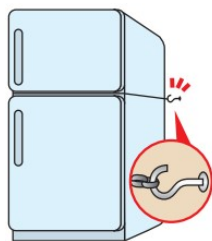
食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



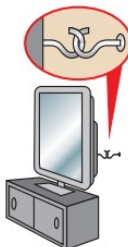
照明

チェーンと金具を使って数箇所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



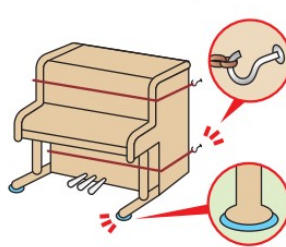
冷蔵庫

2ドアの場合は、扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く（家具の上はさける）。



ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。

家の周囲の安全対策

屋根

不安定な屋根のアンテナの補強。トタンのめくれ、はがれはないか。瓦のひび、割れ、ずれ、はがれはないか。

ブロック塀・門柱

土中にしっかりした基礎、控え壁のないものは補強。ひび割れや鉄筋のサビはないか。

窓ガラス

強風による飛来物などに備え、外側から板でふさぐなどの処置を。飛散防止フィルムを貼る、ひび割れ、窓枠のガタツキはないか。

ベランダ

鉢植えや物干し竿など飛散の可能性が高いものは室内へ。

非常口の確保

通路や出入口には、避難の際の妨げにならないよう、できるだけ自転車やベビーカーなどの物は置かない。

雨どい・雨戸

雨どいに落ち葉や砂が詰まっていないか。雨戸にガタツキやゆるみはないか。継ぎ目の外れや塗装のはがれ、腐りはないか。

側溝

側溝が詰まると、道路冠水や浸水の原因に。日頃からの清掃を。

外壁

板壁に腐りや浮きはないか。モルタルの壁に亀裂はないか。

家の周りのもの

プロパンガスのボンベはしっかり固定されているか。植木鉢などは整理整頓を。風に飛ばされそうなものは事前に屋内へ。

